

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成29年10月26日 (2017.10.26)

【公開番号】特開2016-62325(P2016-62325A)
【公開日】平成28年4月25日 (2016.4.25)
【年通号数】公開・登録公報2016-025
【出願番号】特願2014-190033(P2014-190033)
【国際特許分類】

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

【 F I 】

G 0 6 Q 30/02 1 0 0

G 0 6 Q 30/02 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月14日 (2017.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するため、

本発明は、

商品の特徴を説明するコンテンツが再生されたことを示すコンテンツの再生情報を記憶する再生情報記憶手段と、

前記商品の販売情報を取得する販売情報取得手段と、

前記コンテンツの再生情報および前記コンテンツに対応する商品の販売情報に基づき当該商品の商品動向を解析する解析手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

商品の特徴を説明するコンテンツが再生されたことを示すコンテンツの再生情報を記憶する再生情報記憶手段と、

前記商品の販売情報を取得する販売情報取得手段と、

前記コンテンツの再生情報および前記コンテンツに対応する商品の販売情報に基づき当該商品の商品動向を解析する解析手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記再生情報は、前記コンテンツの再生回数であり、

再生回数閾値と比較し前記コンテンツの再生回数が多いかを判定する再生回数判定手段と、

を備え、

前記解析手段は、前記再生回数判定手段に基づいて前記商品の商品動向を解析することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記販売情報は、前記商品の販売数であり、販売数閾値と比較し前記商品の販売数が多いかを判定する販売数判定手段と、を備え、

前記解析手段は、前記販売数判定手段に基づいて前記商品の商品動向を解析することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記解析手段により解析される前記商品動向から前記商品の価格を決定する価格決定手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記コンテンツは再生装置により、視聴者に向けて所定の時間間隔で再生され、

前記再生情報記憶手段は、所定の時間間隔で再生された再生回数を記憶することを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記商品の利益率又は在庫数によって再生回数閾値を調整する再生回数閾値調整手段を更に備えることを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記商品の利益率又は在庫数によって販売数閾値を調整する販売回数閾値調整手段を更に備えることを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

情報処理装置が、

商品の特徴を説明するコンテンツが再生されたことを示すコンテンツの再生情報を記憶するステップと、

前記商品の販売情報を取得するステップと、

前記コンテンツの再生情報および前記コンテンツに対応する商品の販売情報に基づき当該商品の商品動向を解析するステップと、

を実行することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 9】

コンピュータを、

商品の特徴を説明するコンテンツが再生されたことを示すコンテンツの再生情報を記憶する再生情報記憶手段、

前記商品の販売情報を取得する販売情報取得手段、

前記コンテンツの再生情報および前記コンテンツに対応する商品の販売情報に基づき当該商品の商品動向を解析する解析手段、

として機能させるためのプログラム。